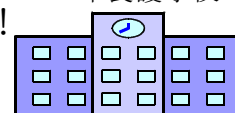


学校評価アンケート（前期）結果報告

平養護学校

学校評価アンケートへのご協力いただき、ありがとうございました！

■ 前期の学校評価の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。



今年度のはじめに、学校経営・運営ビジョンにおいて、「地域とともに学び、共に生きる教育」を基本理念とし、子どもたちが、主体的に、生き生きと学ぶことができる学校づくりに努めることを約束いたしました。

その実現のために次の3つの合い言葉をお示しいたしました。

①「子どもとともに」 ②「地域とともに」 ③「仲間とともに」

今回ご協力いただきました学校評価アンケートの結果と3つの合い言葉の視点から考察した内容をお知らせいたします。

昨年度までは、グラフ等をもちいてご報告してまいりましたが、今年度は、数値に置き換えてよりわかりやすくなるように工夫しました。各数値(指数)の目安は次のとおりです。

- ①1.5～2.0＝「とても良好な状態」
- ②1.0～1.5＝「良好な状態」
- ③0.0～1.0＝「改善が必要な状態」
- ④0.0以下＝「緊急的な対応が必要な状態」

ワンポイント

この指数は、アンケートで「はい」の回答を2.0～「いいえ」の回答を-2.0として、回答者数で割った数値となっています。

なお、保護者の皆様のアンケート集約結果につきましては、近々、本校ホームページ上に掲載いたしますので御覧いただければと思います。

1 評価の結果

I 子どもとともに（授業の充実）

【各項目の評価結果】

	小学部	中学部	高等部
①お子さんは、学校に行くことを楽しみにしていますか。	1. 7	1. 9	1. 9
②学校は、学校医や看護師等と連携を密にし、お子さんの健康な身体を育てていますか。	1. 5	1. 8	1. 8
③学校は、社会参加・自立に向け、お子さんに合った進路指導を行っていますか。	1. 5	1. 7	1. 9

【特 徴】

- 保護者の皆様の評価は全体的に高い評価でした。全学部、すべての項目において「とてもよい状態」で実践されているという結果となっています。
- 「登校を楽しみにしていますか」の項目で満点に近い数値となっていることは、何よりもうれしいことです。取り組みを継続してまいりたいと思います。
- 医療的ケアをはじめ、学校の安全・安心な取り組みについても高い評価をいただきました。過信せずに、今後も、継続してまいりたいと思います。



II 地域とともに(連携の推進)

【各項目の評価結果】

	小学部	中学部	高等部
④学校は、教育の目標や方針を、分かりやすく、保護者に伝えていますか。	1. 6	1. 7	1. 8
⑤学級担任と連携を図りながら、個別の教育支援計画が作成されていますか。	1. 6	1. 8	1. 9
⑥通知表（個別の指導計画）や個別懇談などで、学習の目標や内容、評価を分かりやすく伝えていきますか。	1. 8	1. 9	1. 9
⑦学校は地域の中で交流及び共同学習を行っていることをご存じですか。	1. 6	1. 9	1. 9
⑧学校は、早期教育相談「あ・そ・び・ば」や教育相談など、地域への支援を行っていることをご存じですか。	1. 7	1. 6	1. 9

【特 徴】

- 全学部、すべての項目において「とてもよい状態」で実践されているという結果となっています。
 - ②の個別の教育支援計画の作成について、保護者の皆様と本校職員の連携がとれ、良好に保たれていることがうかがえます。
- 気になる点としましては、「いいえ」とお答えの方が複数いる点です。個別の教育支援計画の説

明は、6月に実施の個別の懇談週間の時に行われていますが、説明が不十分だったり、保護者の皆様の願いが反映されていないといったことが考えられますので、工夫してまいりたいと考えています。

- 共同及び交流学習は、インクルーシブ教育を進めるうえでも大切となっており、本校でも力を入れている所であり、高評価をいただいています。今後も継続して取り組んでまいりたいと思います。



Ⅲ 仲間とともに（専門性の向上）

【各項目の評価結果】

	小学部	中学部	高等部
⑨多くの教職員が声をかけ、みんなで子どもたちを育てようとしていますか。	1.5	1.5	1.9
⑩個別の指導計画や方法の引継ぎを密にして、教師間や学部間で継続した指導を行っていると思いますか。	1.3	1.3	1.8
⑪授業はお子さんにとって分かりやすく、適切な指導がなされていると思いますか。	1.6	1.5	1.9
⑫学校は、お子さんや保護者の悩みや相談に専門的な立場から親身になって応じてくれますか。	1.5	1.6	1.8

【特徴】

- 保護者の皆様の評価は全体的には、高い評価でした。
- 項目②の「個別の指導計画や方法の引継ぎを密にして、教師間や学部間で継続した指導」については、小中学部で1.3ポイントと「良好な状態」ととどまっていることが分かりました。「いいえ」と答えた方も複数名見られた項目となっています。
学年間や学部間で、担任同士のきめ細かい引継ぎについて、今後、工夫していく必要があると考えられます。
- 「多くの教職員が声をかけ」の項目では、例えば、不用意に声をかけることによって子どもが不安定になったり、てんかん発作の誘因になったりするケースもあるため慎重になっている職員もいます。保護者の方の中にも、不用意に声をかけられることを煩わしいと思っている方もいます。要となるのは、声をかけるなど、あたたかく接しているかどうかなのだと思います。あたたかいまなざしで迎えたり、見送ったりすることも「声をかける」前段階としては大切なことなのかもしれません。

2 まとめ

とても満足度の高い学校との評価結果でした！

第1回（前期）の評価の結果について指数をもとに見てまいりましたが、各項目別、各学部別の指数ともきわめて高い評価結果となりました。中でも「子どもとともに（授業の充実）」の各項目の評価は極めて良好でしたので、本校が子どもたちにとっても保護者の皆様にとりましても満足度の高い学校であると言える結果でした。

また、ほぼすべての項目、各学部別の項目において、昨年度の評価結果よりも数ポイントずつ伸びています。このことは、昨年度までの取組—評価の結果を踏まえ、工夫・改善している証ともいえます。

一方で、個別の教育支援計画を使った学年間、学部間の引継ぎについて不十分なところも指摘される結果となっています。

- ① 保護者の皆様と教職員が一緒になって、目標や支援方法を考えて取り組むこと。
 - ② 教師が保護者の皆様へきちんと説明を行い、保護者の皆様が見通しがもてるようになること。
- が大切だと思います。



今後は、今回の評価結果を開示し、学校評議員会や校内委員会で検討することになっています。

後期あるいは次年度に生かし、よりよい取り組みをしていきたいと考えています。

ご協力ありがとうございました！！